



〈遠藤〉 ずいぶん前になりますが、授業参観で、若い母親が携帯電話で話してばかりいて、子どもの授業を聞いていない様子を見たとき、「大丈夫かな」と思いつことがありましたが、親が親になりきっていないことが気になりますね。

〈真壁〉 まあ、そういうことになりますね。子どもはそのまま親になってしまったので、子育てがよく分からない、という親が増えていっているのではないのでしょうか。

〈遠藤〉 では、鍋倉参与から、日頃のセミナーにおけるインターネット犯罪について話していただきます。

■インターネットを使った犯罪とその防御法について

〈鍋倉〉 インターネットを安全に利用するため、インターネット協会に所属する、日本で初めて携帯電話のフィルタリングソフトを開発した会社に勤める方に講師を依頼しています。

セミナーの対象は、小学校高学年、中・高校生を主としていますが、時には保護者を相手に講演も行っています。インターネットの楽しさ、便利さを伝える一方で、間違った使い方をしたときの怖さを教示するため、ダメで作った悪質サイトに、聴講者に配布した実験用の携帯電話を使ってアクセスさせ、一瞬にして個人情報盗み取って見せたりしています。これには驚きの声が上がります。

また、子どもがネット被害に遭ったり、加害者になるのは大抵の場合、家族内でネット使用のルールを作っていないことに原因があると指摘しています。ですから、私たちは「心」「財産」「命」を守るため、ネット使用の家庭内ルール作りについても細かく指導しています。

〈村瀬〉 ある中学校での出来事です。防犯セミナー終了後、ネットでのいじめについて、いじめている側の子どもたちから、私たちにネットいじめを告白する生徒が出てくるなど、Y防協が実施しているセミナー効果を見逃すことはできない、との感想を私たちは持っています。毎年毎年継続することが大切です。Y防協と連携して実施する防犯セミナーは、子どもたちだけでなく、親、PTAも引き込んでしまうほど素晴らしい活動です。

〈遠藤〉 さて、ネット関連でこんなことがありました。「不在通知。◎◎便です」。これは宅配業者からの連絡ではないんです。悪意ある人間がこうしたメールを送信し、善意の人間をだまそうとする。空恐ろしいと感じます。

〈石附〉 「ネット依存の中高生が51万人」という調査結果（2012年厚生労働省）がありますが、ネットに関する海外での取り組みをご紹介します。お隣の韓国で、ネット依存症予防（安全な教育を3歳から始めています。韓国では、2002年（平成14年）にネット中毒予防センターを立ち上げ、翌2003年（同15年）には政府、学校、病院などが連携、協力してネット中毒者の治療や予防を実施し、効果を上げています。韓国政府は、2015年（同27年）までにネット中毒予防教育を義務化（幼稚園から高校まで）し、国の宝である子どもがネット中毒者にならないよう、親に対する教育活動に力を入れるとしています。

ネットの関連用語に「ペアレンタルコントロール」というものがあります。ネット社会の出現で、アメリカでは「親と教師の権威がなくなった」といわれています。なぜなら新しいネット器具を使う技術や知識の獲得が子どもの方が早いからです。ところが、子どもは善悪や分別が未熟なので様々な善悪に影響され

やすい。したがって、子ども部屋でパソコンやスマホを利用させない。親や大人がいる場所でのしか使わせない。日本も、こうした考え方やルールを早く徹底させる必要があると言えないのでしょうか。

■高齢化社会にマッチした防犯活動の展開について

〈村瀬〉 医療に従事する立場からいうと、認知症患者に関わる犯罪が増えています。虐待も依然として減っていません。私たちの調べでは、虐待を受けた高齢者の実に6割が、加害者が実子です。患者の方が高齢者かつ認知症である場合、彼らを取り巻く環境に留意することが重要です。

私たちが高齢者に対する虐待に気づくようになったのは、救急搬送される高齢患者の治療にあります。治療すれば、患者と家族との関係が見えてきます。患者が加害者なのか、あるいは被害者なのかがかつてきます。アルツハイマー患者の中には、突然暴れ出し、止めに入った周囲の人を傷つける事案も出ています。こうして患者と家族との関係が明らかになれば、病気としての治療方針も確立されますので、犯罪の抑止・防止の意味でも、医療関係者と警察関係者の連携は今後強化していく必要があると思っています。

超々高齢社会になれば、犯罪自体が高齢者特有のものでなくなりません。現に、高齢者のストーカー行為にも似た「付きまとい」に関わる相談も、私たちに持ち込まれます。今後、高齢者が被害者もしくは加害者となる犯罪が、社会から隔離されて起こるものなのか、社会参加することに抑止力はあるのかなど、その原因追究にも、私たちは力を割いていかねばならないと考えています。